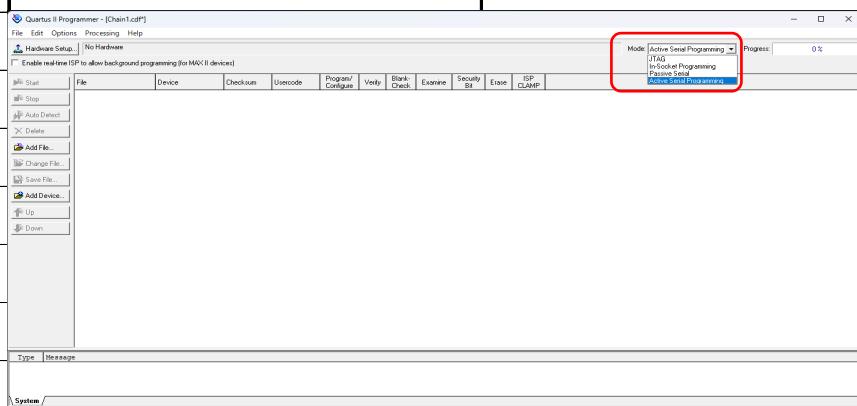


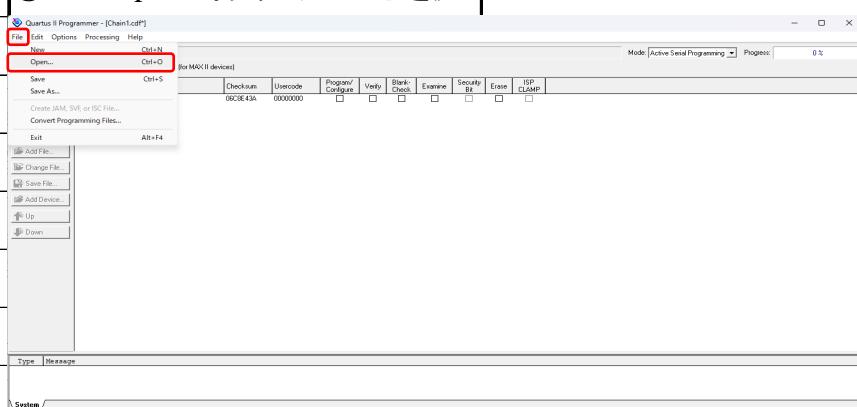
ライン名	基板にプログラム書き込み	作業標準書	秒/個	承認	作成
品番:			秒/個		
使用工具					列真 2023.12.25 石井
順序	項目	内容	備考・図		
0	準備するもの	<p>①書き込み用ケーブル(USB Blaster)</p> <p>②Quartus II 9.1 Programmer</p> <p>フォルダ内のインストーラーは下記</p> <p>Quartus II 9.1.zip → Quartus →</p> <p>quartusii_programmer_signaltap.exe</p>			
1	書き込み手順	<p>①石定盤に基板台が組付いており 電源電装BOXに配線している状態で 作業を行う(写真は取付位置のみ) 実機の基板電源OFF状態で 目的の基板にて写真の赤枠部分に 書き込み用ケーブルを差し込む</p> <p>②書き込みソフトを インストールしているPCにて、 書き込みソフト起動する (Quartus II 9.1 Programmer)</p> <p>③電源ボードの基板電源をONにする</p> <p>④下記目的のデータをPCに ダウンロードしておく</p>	<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p>		
Adhead基板	ADUnit.pof				
AFhead基板	DPosAF_head365.pof				

⑤書き込みソフトにてModeを押下

「Active Serial Plogrogramming」を選択



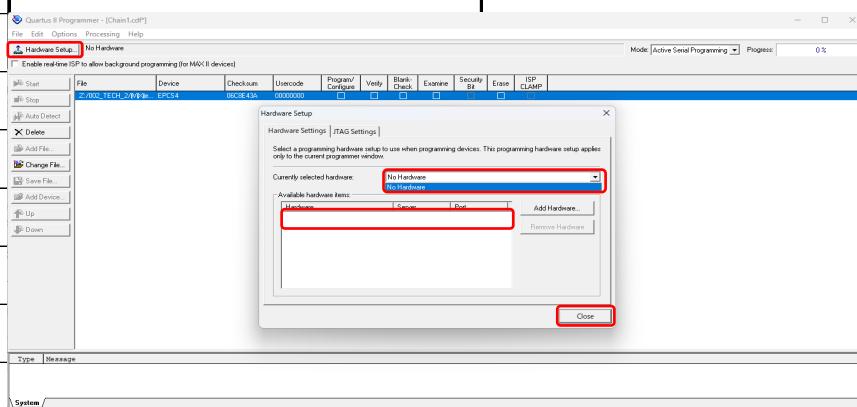
⑥File→open→目的のデータを選択

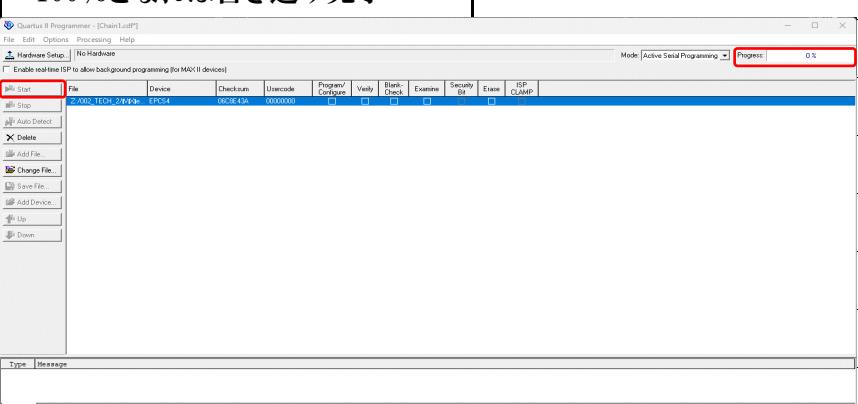


⑦Hardware Setup...を押下し

今回書き込みたいHardwareを

選択しCloseを押下



		⑧Startを押下し、Progress:の表記が 100%となれば書き込み完了	
難しい、時間がかかる、改善したい等			
・ケーブル1本は少ない。せめてもう1本あると無くしても対応できる。二人で同タイミングに書き込みできる			
変更履歴	年月日	内容	承認
-	2024年4月11日	新規作成	石井 